

53. 鉱物絵の具でかいてみよう

きしわだ自然友の会 武 修次

1. 鉱物で絵の具がつくれるよ

鉱物を細かい粉にすると絵の具になるものもあります。これは岩絵の具といって、日本や中国で昔から使われてきました。さあ、あなたも自分だけの絵の具をつくって自由に文字や絵をかいてみましょう。

2. 岸和田産ランテッコウ（藍鉄鉱、ビビアナイト）

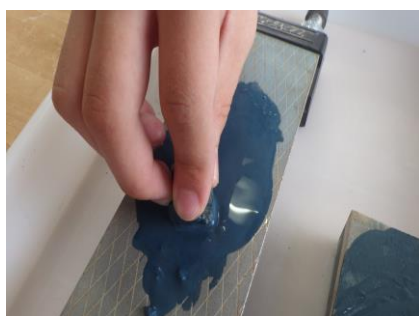


絵の具になる鉱物は何種類もありますが、きょうは藍鉄鉱をつかいます。これは、鉄とリンを含んだ、含水リン酸塩鉱物です。
⇨岸和田産藍鉄鉱ノジュールの断面

これは、2020 年頃に岸和田市の丘陵地の地層から私たちが見つけたもので、今から 300 万年くらい前に浅い湖のような場所でできたのではないかと考えています。

3. 鉱物絵の具のつくりかた：とても簡単です。時間もかかりません。

水をつけながらダイヤモンド砥石で鉱物を削る ⇒ 筆でかく
絵でも文字でも、好きなものをかきましょう。



4. 色の変化

純粋な藍鉄鉱 $\text{Fe}_3(\text{PO}_4)_2 \cdot 8\text{H}_2\text{O}$ は無色透明ですが、光が当たると空气中で酸化して濃い灰藍色のメタ藍鉄鉱に変化します。西洋でブルーオーカーと呼ばれていた絵の具です。さらに加水変質が進むと、黄土色で非晶質のサンタバーバラ石へと変化します。

5. 気をつけよう

危険な作業はありません。服や持ち物を汚さないように気をつけましょう。

6. 問い合わせ先

きしわだ自然友の会、岸和田市堺町 6-5 きしわだ自然資料館内 TEL072-423-8100

7. 参考になる資料

田中陵二、いろいろ色のはじまり（たくさんのふしぎ 2023 年 10 月号）、福音館書店